

未来のためにできること ～木質バイオマス利用 から学ぶエシカル消費～

北アルプス森林組合

北アルプス森林組合は長野県の北西部に位置し、北アルプス連峰を抱える中部山岳地域の雄大な自然の中で活動する林業事業体です。当地域を森林で見ると、全国的に見ても人工林率が低い(30%未満)地域であります。また、自然植生が豊かな雄大な北アルプスが眼前に迫る当地域は観光地としてもとても人気が高く、雪に覆われる冬場はスキーパークで賑わいます。我々北アルプス森林組合では従来の林業に留まらず、生活資源として、観光資源として、また未来へ残す豊かな環境としての山づくりを行っていくべく、当地域にあった森林経営の方法を日々模索しています。



実施可能時期	通年
所要時間	最短2時間～3時間
対象	中学生・高校生
対応可能人員	10～35人 ※上限以上は別途相談

①プログラムの流れ

- 〈午前〉座学による学び(1時間)
- ・森林組合の仕事、木質バイオマスエネルギー
 - ・エシカル消費
- 体験による学び(1～1.5時間)
- ・木に触れる体験(薪割りorハンドクラフト)
- 〈午後〉バイオマスセンター見学(0.5時間)
- ・木質バイオマスチップ製造工程見学
- *見学は事前日程調整が必要

～北アルプス森林組合のSDGs活動～

■ウッドチップ生産

ウッドチップの生産と供給を行うことで北アルプス地域における木質バイオマスエネルギー利用を推進しカーボンニュートラルの実現に貢献しています。



Learning Point

探究学習のポイント

事前学習

課題の明確化

各自が普段の生活中で消費しているエネルギー(電気、ガス、ガソリン等)、資源がどのように作られているか?消費することで環境や社会に対しどのような影響があるかを考えてみましょう。そこから、現代社会における消費活動が抱える課題をあげてみましょう。

現地学習

答えを導く

SDGs達成の手段の一つであるエシカル(論理的)消費の例として、北アルプス地域では木質バイオマスの生産～利用を行っています。森林組合の仕事やエシカル消費につながる例も交えながら、北アルプス地域で木質バイオマス利用を進めることで地域の環境や社会へ与える影響、利点・欠点などを座学や木に触れる体験を通して確認し、自分たちができるることを考えてみましょう。

事後学習

掘り下げる

事前学習で挙がった課題に対してエシカル消費は効果があるでしょうか?また、普段の生活のなかで取り組めるエシカル消費とはどのようなものがあるか調べてみましょう。そのなかで自分たちが実現可能なものはどれだけあるでしょうか。エシカル消費を実行しSDGsの達成を目指しましょう。



未来のためにできること ～木質バイオマス利用から学ぶエシカル消費～

事前学習

課題の明確化

各自が普段の生活の中で消費しているエネルギー(電気、ガス、ガソリン等)、資源がどのように作られているか？消費することで環境や社会に対しどのような影響があるかを考えてみましょう。そこから、現代社会における消費活動が抱える課題をあげてみましょう。

現地学習

答えを導く

SDGs達成の手段の一つであるエシカル(論理的)消費の例として、北アルプス地域では木質バイオマスの生産～利用を行っています。森林組合の仕事やエシカル消費につながる例も交えながら、北アルプス地域で木質バイオマス利用を進めることで地域の環境や社会へ与える影響、利点・欠点などを座学や木に触れる体験を通して確認し、自分たちができることを考えてみましょう。

事後学習

掘り下げる

事前学習で挙がった課題に対してエシカル消費は効果があるでしょうか？また、普段の生活のなかで取り組めるエシカル消費とはどのようなものがあるか調べてみましょう。そのなかで自分たちが実現可能なものはどれだけあるでしょうか。エシカル消費を実行しSDGsの達成を目指しましょう。